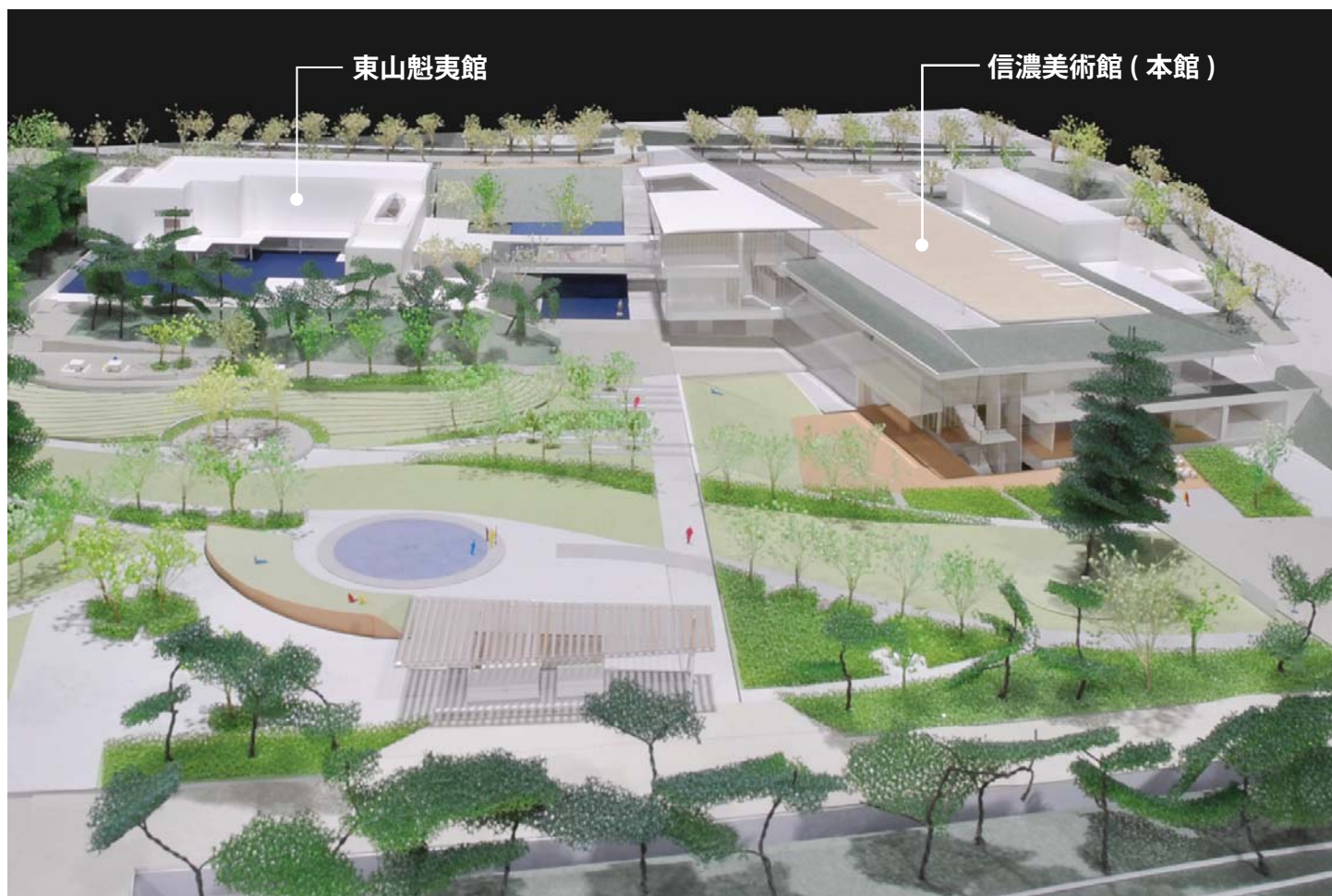


信濃美術館の施設概要について<ランドスケープ・ミュージアム>

県民文化部 文化政策課 信濃美術館整備室



善光寺東公園側から見た信濃美術館（本館）と東山魁夷館

1. 建物（本館）の概要

所在地	長野市箱清水（城山公園内）
延床面積	10,000 m ²
構造	鉄筋コンクリート造 （一部鉄骨造） 地下1階、地上3階

2. 設計者

株式会社プランツアソシエイツ（東京都中野区）
代表取締役 宮崎 浩

3. 設計の特徴

「信濃美術館整備基本構想（平成28年11月策定）」に示した4つのコンセプト

- ・ランドスケープ・ミュージアム
- ・美術による学びの支援
- ・信州の地域文化の多様性を活かす
- ・世界水準の美術作品の展示と信州美術の紹介

を踏まえた上で、隣接する東山魁夷館や善光寺などとの関係性に配慮した「つながる美術館」として設計

4. 建築のコンセプト

■ランドスケープ・ミュージアム

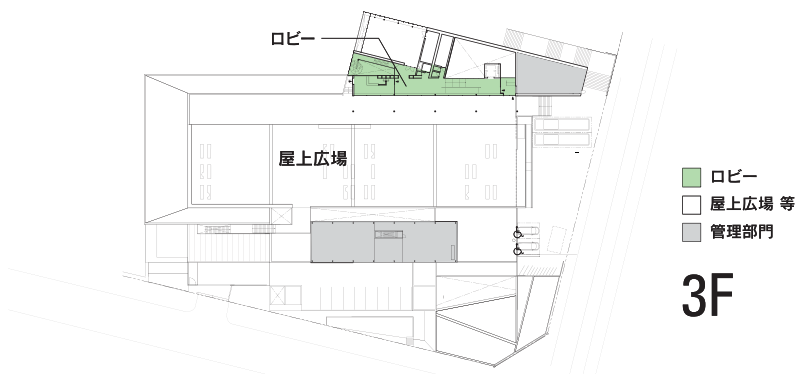
善光寺側から東側道路に至る高低差を活かし、建物が風景の中に突出することなく、それぞれの敷地を一体的に結びつけることを大きなコンセプトとしている。その上で、城山公園全体の歴史と将来像を鑑みながら、公園だけでなく、善光寺東公園や東側神社の杜との連続性を意識しながら、ランドスケープと建築の融合を目指した。

■ユニバーサルデザイン

南側道路との接続を含めた3つのレベルに対応した床レベルを設定することで、地階を除く全ての階において、水平移動のみでの入館が可能な計画となっている。年齢や障がいの有無に関わらず、全ての人々が美術に親しむことができる施設を目指した。

■「屋根のある公園」

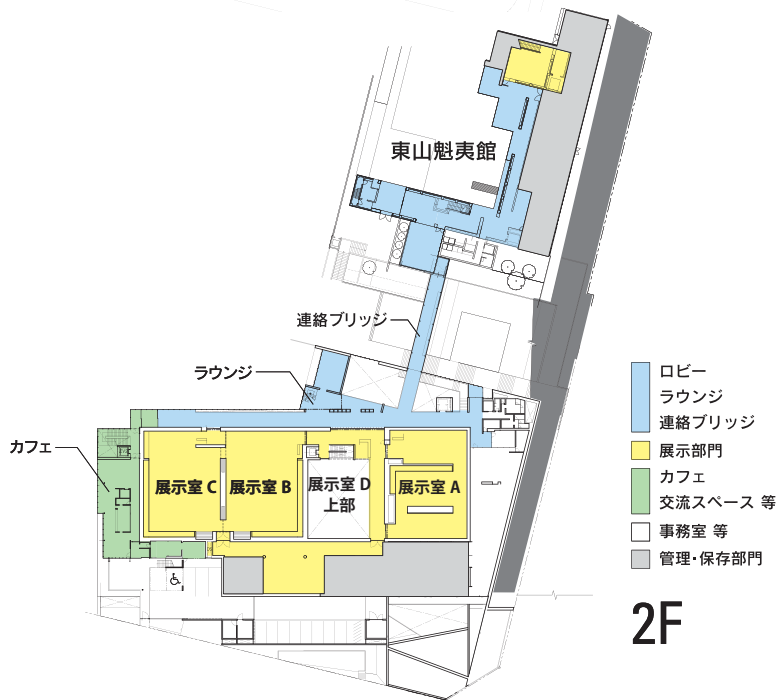
新しい信濃美術館では、国宝を含む多様な展示活動に対応できる「公開承認施設」の条件を満たす一方、県内美術団体や一般県民が多目的かつ自由に利用できるスペースへの要望に応えることを目指した。後者については、公園との一体利用を視野に入れて「屋根のある公園」と呼ぶ新しいスペースを創出した。



3F



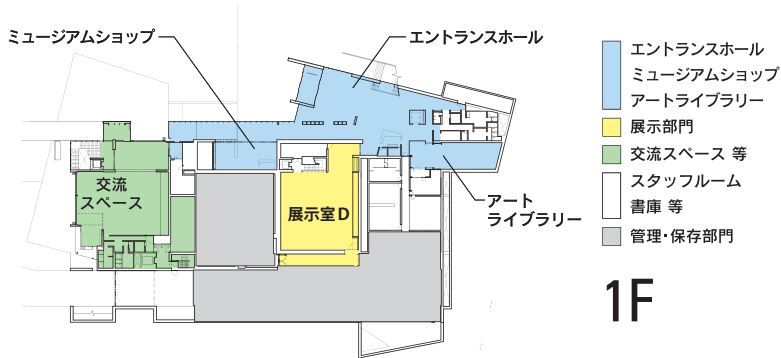
東側道路・屋上広場から善光寺を望む



2F



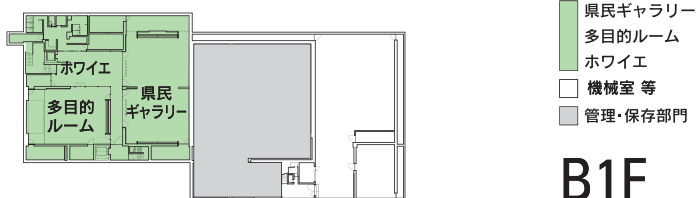
屋根のある公園 (交流スペース)



1F



県民ギャラリー (多目的ルームとの一体利用が可能)



B1F

5. 総事業費 (概算)

106 億円

H30.9月補正 債務負担行為設定額 92 億 25 万 9 千円

6. 今後の予定

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 善光寺御開帳
信濃美術館 (本館)	実施設計 解体工事	新築工事		OPEN 予定
東山魁夷館	改修工事		OPEN 予定	
城山公園 (噴水公園)	実施設計	公園工事		OPEN 予定

※東山魁夷館は 2019 年秋にリニューアル・オープン予定